

プロジェクト課題活動実績

課題名：南部大規模モデル法人の生産体制強化

山口農林事務所農業部 チーム員：橋本、久村、和田

<活動事例の要旨>

大規模集落営農法人を対象に新品目の導入、既存品目の生産安定化や2毛作拡大等を推進し、業務用産地のモデル育成を図った。併せて、周辺法人との関係を密にし、法人間連携に向けた誘導を行うとともに、雇用就業の受入体制整備を支援した。

1 普及活動の課題・目標

米価下落傾向の中、集落営農法人の経営基盤を確保するため、結びつき米や野菜栽培の取組拡大が求められている。また、機械利用の共同化によりコスト低減を図り、経営の健全化を進めることも求められている。

そこで、山口市南部の大規模集落営農法人を対象に、水田フル活用（複合経営の取組拡大）により個々の経営基盤を確立するとともに、大規模法人の連携による業務用産地の育成に向けたモデル的な取組を支援する。なお、関連する目標値は別表のとおり。

2 普及活動の内容

【対象】

（農）F、（農）K

【具体的活動】

○技術的支援

《主穀品目導入と定着》

・小麦

「せときらら」の収量、品質の確保支援

・酒造好適米「山田錦」

収量、品質の確保支援

・大豆

新規作付けに向けた技術支援および青立ち対策

《土地利用型野菜の拡大》

・たまねぎ、キャベツ

機械化体系、鉄コンテナ仕様の実証（定植～搬出）、加工向け品種の試作等

○法人収益の向上

・二毛作の推進（土地利用率の向上）

・実需者との連携強化と、新たな販売先の開拓支援

○法人間連携への誘導

・技術実証を通じた“きっかけ”づくり

・法人による情報交換会の開催と、経営改善の取組支援（雇用による労力確保等）

3 普及活動の成果

下表のとおり、概ね目標値を達成し、法人経営の改善と、法人を核とした産地モデルの育成を図ることができた。

区分	項目	対象	当初 (H26)		目標 (H27)	実績 (H27)
技術的支援	小麦生産量(1等)	K	92t	→	100t	90t
		F	90t		100t	96t
	山田錦生産量(1等以上)	K	4t		11t	11t
	大豆生産量(3等以上)	K	142t		20t	17t
		F	—		36t	27t
	たまねぎ面積	K	1.0ha		1.5ha	1.8ha
キャベツ面積	F	4.3ha	5.0ha	5.6ha		
法人収益の向上	土地利用率	K	140%	→	145%	145%
		F	128%		133%	135%
	新たな販売先(野菜)	—	—		1	1
法人間連携への誘導	法人を核とした情報交換会の開催	—	0回	→	3回	3回
	新規就業の受入体制整備	F	—		—	○

4 今後の普及活動に向けて

今回の取り組みをモデルとして、管内の法人に対し、経営改善に向けた提案を行うとともに、法人を核としたキャベツ、タマネギなど土地利用型野菜の産地拡大を進める。